

【ナンバーカード】日本の病院で診察を受ける際は、まず名前を書き受付を行いますよね？大きな病院などでは受付時に整理番号を振られる事もあります。その後待合室で待ち、順番通りに呼ばれ受診する事ができます。しかしマラウイの病院では受付をする事もなく、患者が列を作り長時間待ちます。待っている患者は、自分が果たして何番目の患者なのか、あとどのくらい並べばいいのかもよく分からず、列を離れる事もなかなか出来ません。また、残念な事に、偉そうな男の人が堂々と列を乱す事も頻繁に見受けられます。全員が平等であるはずの来院患者ですが、そうでない事態が起きてしまうのも現実の一つです。そこで、ドーワ県立病院にも日本の病院の様にナンバーカード（整理券）を導入しました。この整理券によって患者は自分が今何番目の患者なのかを知ることができ、また順番を守る事がより可能になります。導入時はきちんと機能するか不安なところもありましたが、しばらく経った今でも順調に機能しており、このナンバーカードもまたKAIZENの一つになったと思います。まだまだ多少の改善点があり完璧な仕組みとは言えませんが、この病院に根付く仕組みとなり、この先も進化を遂げつつも続いて欲しいと思います。

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

Number cards
KHADI YA NAMBALA

- Please get your number card from staff
- Hold on to the card until your number is called
- the staff will call the numbers in order
- when your number is called, enter the examining room
- Please give the card back to the staff

- Chonde tengani nambala ya khadi kwa ogwira ntchito mchipatara.
- Sungani khadi mpaka nambala yanu iyitanidwe.
- Kadi izitanidwa potsitira ndondomeko ya manambala.
- Pelekani khadi panhawi yomwe mwalowa mchipinda cha dokotala.

英語とチェワ語での説明



ここは外科病棟です。簡易な処置を行います。朝からスタッフにより整理券（ナンバーカード）が配布されます。多い日は朝の時点で50人以上が待つ事もあり日々混雑している病棟の一つです。



裏面

左側のレバーを上げ下げ
すると水が出てきます。
小さな子供達も重い水を
お手伝いを行います。



【井戸】水道が備わっていない家庭・または水道の断水時（頻繁）いずれにしてもマラウイの生活には欠かせない井戸。数年前までは井戸の数も需要に比べ格段に少なく、遠くの村まで井戸を求めて歩いたり、汚い水でも仕方なく使用していたそうです。しかし、近年は様々な他国の支援等により井戸の数は増え、量・質共にある程度改善されました。とは言え、頭に重い水を乗せて遠くの家まで運ぶ事は、必須事項。とても容易な事とは思えません。私も何度か試した事はありますが、30mほどでギブアップしてしまい、とても数キロ運ぶ事など出来ないと悟りました。常にマラウイ人には関心させられっぱなしです。みんな頭に掛けて運びますが、実際にやってみると重さと痛みに耐えられませんでした。

【後記】マラウイでの活動も終盤になってきました。病院での活動も、空手も、地域とのコミュニティもどこまで出来るか分かりませんが前進あるのみですね。活動では少しでも良い兆しが、5Sリーダーとして共に5Sを取り組んできた看護師の二人が昇進し、各病棟の責任者となりました。これにより更に5Sの展開がスムーズに働きそうです。空手では、8月に予定されている日本大使館主催の全国大会にエントリー出来るように交渉しており、子供達も目標に向けてひた走っています。もちろん優勝を狙っています。もう何が正解か分からず、時より路頭に迷っている様な場面もありますが、とにかく前を向いて頑張ります。